

## 令和6年度 第2回 液化石油ガス規格委員会 議事録

I. 日時 : 令和7年3月4日(火) 9:30~11:20

II. 開催方法 : WEB開催

### III. 出席者(敬称略、順不同)

委員長 : 小川  
副委員長 : 澤  
委員 : 青木、佐藤、渡邊、佐々木、由比藤、菅谷、塚口、榎本、中沢、長井、  
立松、河村、釘宮、金木  
事務局(KHK) : 及川、草野、長沼、加藤、小川、樋渡  
オブザーバー : 佐野(株式会社サイサン)  
欠席 : 齋藤

### IV. 配布資料

- 資料1 液化石油ガス規格委員会委員名簿
- 資料2 見直し対象基準全体に係る JIS Z 8301 関係の見直しについて
- 資料3 液化石油ガス規格委員会関係基準の見直し等について
- 資料4 液化石油ガス屋内用ガス栓用ゴムキャップ基準 (KHKS 0712) の見直しについて
- 資料5 液化石油ガス屋内用ガス栓用ゴムキャップ基準 (KHKS 0712) 見直し案
- 資料6 金属フレキシブルホース(接続金具を含む。)基準 (KHKS 0715) の見直しについて
- 資料7 金属フレキシブルホース(接続金具を含む。)基準 (KHKS 0715) 見直し案
- 資料8 液化石油ガス用ガス放出防止器基準 (KHKS 0719) の見直しについて
- 資料9 液化石油ガス用ガス放出防止器基準 (KHKS 0719) 見直し案
- 資料10 液化石油ガス配管用フレキ管(フレキ管継手を含む。)基準 (KHKS 0727) の見直しについて
- 資料11 液化石油ガス配管用フレキ管(フレキ管継手を含む。)基準 (KHKS 0727) 見直し案
- 資料12 液化石油ガス用安全アダプタ基準 (KHKS 0722) の廃止について
- 資料13 技術基準整備3ヶ年計画(2025年度~2027年度)

- 参考資料1 委員等倫理心得
- 参考資料2 技術基準作成基本方針
- 参考資料3 技術基準整備3ヶ年計画(2024年度~2026年度)
- 参考資料4 液化石油ガス用安全アダプタ基準 (KHKS 0722 (2019))
- 参考資料5 委員専用サイト 操作手順案内

## V. 議事

### (1) 委員紹介等

事務局が、資料1に基づき委員の紹介を行い、出席委員は委員代理者を含めて16名であることを報告し、規格委員会規程第14条第1項で定める委員会の定足数（委員代理者を含む委員会委員の数の過半数（9名））を満たしていることを報告した。その後、配布資料及び参考資料1の委員等倫理心得について確認を行った。

### (2) 見直し対象基準全体に係る JIS Z 8301 関係の見直しについて

事務局が、資料2を用いて、見直し対象基準全体に係る JIS Z 8301 関係の見直しについて説明を行った。質疑はなかった。

### (3) 液化石油ガス規格委員会関係基準の見直し等について

#### 0) 液化石油ガス規格委員会関係基準の見直し等全体について

事務局が、資料3を用いて、液化石油ガス規格委員会関係基準の見直し等について説明を行った。質疑はなかった。

#### 1) 液化石油ガス屋内用ガス栓用ゴムキャップ基準（KHKS 0712）の見直しについて

事務局が、資料4及び資料5を用いて、液化石油ガス屋内用ガス栓用ゴムキャップ基準（KHKS 0712）の見直しについて説明を行った。

説明後の以下の質疑の後、質疑の結果を踏まえた見直し案に関して採決を行ったところ、出席委員16名全員の賛成（決議の要件：出席委員の数（16名）の過半数（9名以上）の賛成があった場合）により可決された。

○ 「2. 適用範囲」について、一部「ガス栓用の」という言葉が削除されているが、削除された結果分かりにくくなっている。「1. 目的」と同様、又は類似の記載にしたほうが良いのではないか。

→ 指摘の通り修正する。修正については事務局対応で良いか。

→ 良い。

○ 「1. 目的」の記載と、「2. 適用範囲」の記載ぶりは規格同士で共通した方が良いのではないか。なお、以降の規格についても同様である。

→ KHKSとして記載ぶりに決まりはないのか。

→ 規格の書き方については、JIS Z 8301に準拠するとしているが、改めて確認し、必要な修正を行う。

#### 2) 金属フレキシブルホース（接続金具を含む。）基準（KHKS 0715）の見直しについて

事務局が、資料6及び資料7を用いて、金属フレキシブルホース（接続金具を含む。）基準（KHKS 0715）の見直しについて説明を行った。

説明後の以下の質疑の後、質疑の結果を踏まえた見直し案に関して採決を行ったところ、出席委員16名全員の賛成（決議の要件：出席委員の数（16名）の過半数（9名以上）の賛成があった場合）により可決された。

○ 資料 6 2. (4) の記載で「最小トルクと最大トルクとの間の締付力で締め付ける」とあるが、締付力（単位：N）と締付トルク（単位：N・m）で単位が異なるため、どちらが適切か確認してほしい。

→ 元の記載と新しい記載のどちらが適切なかの確認する。

○ 「締付け」→「締め付け」への記載の変更は名詞系から動詞系への変更か。

→ その通り。

○ 引用規格である JIS K 6351 について、2025 年 1 月に改正されており、JIS 名の変更などが行われている。KHKS 0715 で引用している内容が変更となっているか不明のため確認した方が良いのではないか。

→ 確認し、必要に応じて引用年度の修正を行う。

（KHKS 0715 で引用している内容に変更がなかったため、JIS K 6351:2025 を引用することとした。）

○ 検査の方法欄でプロパンやプロピレンの割合が%で示されているが、mol%、vol%、wt%のいずれかわからないため、明らかにした方がよいのではないか。

→ 確認する。

### 3) 液化石油ガス用ガス放出防止器基準（KHKS 0719）の見直しについて

事務局が、資料 8 及び資料 9 を用いて、液化石油ガス用ガス放出防止器基準（KHKS 0719）の見直しについて説明を行った。

説明後の以下の質疑の後、質疑の結果を踏まえた見直し案に関して採決を行ったところ、出席委員 16 名全員の賛成（決議の要件：出席委員の数（16 名）の過半数（9 名以上）の賛成があった場合）により可決された。

○ 規格内で「閉止」と「遮断」という言葉が出ているが、意味を使い分けているのか。

→ 規格内の「閉止」と「遮断」の使い分けについて、事務局で確認し、必要に応じて修正する。

### 4) 液化石油ガス配管用フレキ管（フレキ管継手を含む。）基準（KHKS 0727）の見直しについて

事務局が、資料 10 及び資料 11 を用いて、液化石油ガス法施行規則関係技術基準（KHKS 0739）の見直しについて説明を行った。

説明後の以下の質疑の後、質疑の結果を踏まえた見直し案に関して採決を行ったところ、出席委員 16 名全員の賛成（決議の要件：出席委員の数（16 名）の過半数（9 名以上）の賛成があった場合）により可決された。

○ 規格内で一つの数字の間で改行が行われている部分があり、分かりにくい。

→ 修正する。

○ 「1. 目的」の記載で「塩化ビニルを被覆したもの」とあるが、正確には「ポリ塩化ビニルを被覆したもの」でないか。

→ 修正する。

#### 5) 液化石油ガス用安全アダプタ基準 (KHKS 0722) の廃止について

事務局が、資料 12 を用いて、液化石油ガス用安全アダプタ基準 (KHKS 0722) の廃止について説明を行った。

以下の質疑の後、規格委員会規程第 20 条及び第 23 条に基づき、書面投票の実施、書面投票期間を 15 日間とすること及びパブリックコメントの実施期間を 1 か月とすることに関して採決を行ったところ、出席委員 16 名全員の賛成（決議の要件：出席委員の数（16 名）の過半数（9 名以上）の賛成があった場合）により可決された。

○ 廃止された基準は保管され、誰でも閲覧可能なのか。

→ KHK の資料室で保管されており、誰でも閲覧可能である。

○ 安全アダプタの製造廃止はいつ頃か。

→ 関係団体に確認したところ、2001 年以降新規での製造実績がないとのことである。

#### (4) 技術基準整備 3 ヶ年計画 (2025 年度～2027 年度) について

事務局が、資料 13 を用いて、技術基準整備 3 ヶ年計画 (2025 年度～2027 年度) について説明を行った。

説明後質疑はなく、技術基準整備 3 ヶ年計画 (2025 年度～2027 年度) に関して採決を行ったところ、出席委員 16 名全員の賛成（決議の要件：出席委員の数（16 名）の過半数（9 名以上）の賛成があった場合）により可決された。

#### (5) その他

議事録（案）については後日メールにて確認することとなった。また、今回の審議以外の技術的内容の変更を伴わない字句修正が発生した場合について、事務局において修正を行い、委員長の確認を得て進めることとして良いか委員に諮った結果、委員から異論はなく、その通りに進めることとなった。

以上